

空の詩 三編 解答

【目標】詩の情景や表現の効果について考えよう。

名前
一年組番

【『雲』山村暮鳥】理解ワークシート（穴埋め式）※解答例

1. 詩の理解

丘の上で

（**としより**）と

（**こども**）と

うつとりと雲を
ながめている

おうい雲よ
ゆうゆうと

（**馬鹿**）にのんきそうじやないか
どこまでゆくんだ

ずっと（**磐城平**）の方までゆくんか

2. 内容の確認

（1）この詩は、どんな気持ちや雰囲気を表していますか。

（ア）悲しく苦しい感じ

（イ）怒っている感じ

（ウ）素朴でのびのびとした感じ

（2）「としよりと／＼こども」は、作者自身と誰のことだと考えられています。

↓ 死期の迫った作者と（十歳の子ども）と考えられています。

（3）「雲もまた自分のようだ」とありますが、作者はどんな気持ちでこの言葉を書いたの

でしよう。
↓ 死が近づく中で、（これからどうしてよいかわからない不安）という気持ちを雲に重ねた。

（4）「おう老子よ」とは誰のことですか。

↓（紀元前6世紀ころの中国の思想家）という紀元前の中国の思想家で、「（無為自然）」
という考え方を説いた人物です。

（5）この詩が作られたのは、作者がどこに住んでいた時期ですか。

↓（茨城）県（大洗）町で療養生活をしていた頃。

（6）山村暮鳥は何の病気を患っていたと書かれていましたか。

↓（結核）

3. 自分の考え方

あなたは、青空を流れていく雲を見てどんなことを思いますか？また、作者の気持ちに共感できるところはありましたか？感じたことを書いてみましょう。

(例)

雲を見ると、どこまでも自由に流れていってうらやましいと思います。作者が雲に自分の不安な気持ちを重ねたところに共感しました。自然の中で気持ちをゆるめるの大切さを感じました。

詩「朝」ワークシート（吉田 加南子）—【模範解答】

【一】詩の内容について

「空の遠さが屋根にふれている」という表現には、空と屋根がまるで（ア：接して）しているように見える様子が描かれている。

「ふれている」という表現には、空を（イ：擬人）化して描いている工夫がある。

実際には空と屋根の間には（ウ：距離）があることを、「まじわることなく」という言葉で表している。

作者が心を動かされたのは、朝に見た（ウ：空の遠さ）の様子である。

【2】表現技法と効果について

「——まじわることなく」の「——（ダッシュ）」には、（感動をこめた間をつくり、倒置法を印象づける）という効果がある。

「空の遠さが屋根にふれている」という文は、「空の遠さ」「屋根」「ふれている」が普通の語順とは異なる形で書かれており、これは（ア：倒置）法と呼ばれる。

【3】詩の味わいについて

この詩は、（ア：対比）と言葉のつながりで、空の広がりや美しさを印象づけている。

作者は、屋根のすぐ上にあるように見える空が、実は（はるか遠く）まで広がっていることに感動している。

【4】自由記述

（例）

朝、家の窓から空を見たときの、静かで澄んだ雰囲気が感じられました。「まじわることなく」という言葉から、空と屋根がつながっていない広がりを想像し、自然の大きさに気づかされました。（六十字）

【一】詩の内容を整理して、空欄を埋めよう。

この詩は、海鳥が急降下して（　　）魚（　　）を捕らえる場面から始まります。

鳥は翼で（　　）海（　　）を打ち、魚を捕まえ、空へと飛び立ちます。
魚は、（　　）海（　　）を抜け出で、

空の高みでもう一つの空に（　　）のまれ（　　）ます。

【二】技法を見つけよう

次の技法が使われています。あてはまる言葉を選んで、記号を書こう。

ア：倒置法 イ：擬人法 ウ：写実的表現

- （　　ア　　）「魚は 海を脱けてる。初めて そして たった一度だけ。」
- （　　イ　　）「波は 海のやぶれ目を ごまかしている。」
- （　　ウ　　）魚が空へとのまれる様子は、現実の風景をリアルに描いた表現です。

【三】言葉の意味を考え、空欄を埋めよう。

この詩の題名「魚と空」は、「ウオとソラ」と読みます。

「ソラ」での「魚（ウオ）」は、（　　水中　　）の中にする生きものとしての魚のことを指します。一方、「サカナ」は、（　　食べ物　　）としての魚のことです。

【四】読み解して、空欄を埋めよう。

「空の高みでもう一つの空」とは、単に現実の空を指すのではなく、魚が命を終え、（　　別の世界　　）のような場所への旅立ちを表しているとも読めます。これは「食物連鎖」や「命のつながり」といった（　　命のつながり　　）の意味も感じさせます。